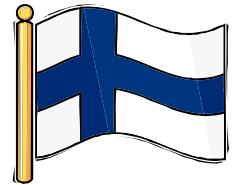


平成18年度

宝達志水町青少年国際交流推進事業



報告書(概要版)



～ヘルシンキ 元老院広場にて～

宝達志水町青少年国際交流推進実行委員会

目 次

はじめに	1
実行委員会委員名簿	2
事業の経過	3
フィンランド派遣団団長あいさつ	5
フィンランド派遣団の概要	6
派遣先の概要	7
日 程	8
行動日誌	9
カメラレポート	19
あとがき	22

はじめに

宝達志水町青少年国際交流推進実行委員会

委員長 田畑武正

宝達志水町として2年目となる青少年国際交流推進事業で、青少年の国際感覚を養うとともに、国際化に対応できる人材の育成を目的として、昨年につきフィンランドへの派遣事業を実施しました。

本年も町内の中・高生から募集人員を上回る13名の応募があり、国際交流に対する関心の高さを改めて感じ取ることができました。そして、青少年国際交流推進実行委員会で審議した結果、応募者それぞれの意志を尊重し、全員をフィンランドへ派遣することと決定しました。

生徒たちは2回の事業説明会と8回の事前研修会を通して、派遣事業の目的を再確認するとともに、英会話やテーブルマナーの習得など必要な準備を重ねました。

そして迎えた8月16日。生徒たちはそれぞれ期待と不安を胸に宝達志水町を出発しました。派遣先のタンペレ市では、ホストファミリーと交流しながら、フィンランドの生活や文化を肌で感じたようであり、アムリ校の体験入学では、日本の学校とは違う自由な雰囲気の中、同世代の生徒たちと机を並べ、いろいろと学ぶことが多かったようです。

私はこの派遣事業は、町が青少年に対し期待を寄せる思いと保護者の皆さんが子どもたちの将来にかける願いとが1つになって実現したものと認識しています。生徒たちにはそれらの思いを無駄にすることなく、フィンランドでの貴重な経験、そして立派な思い出を生涯の宝とし、今後の生活に生かしてほしいと考えています。

また、この意義ある青少年国際交流推進事業が今後もますます発展し、町の将来を担う立派な人材が1人でも多く輩出されることを願っています。

最後に、今回のフィンランド派遣にあたり、多面に亘りご尽力願いました中江映団長と事業の計画・実施と随行に万全を全うしていただいた森田主事に心よりお礼申し上げますとともに、ご協力を賜りました宝達志水町、並びに宝達志水町青少年国際交流推進実行委員会に対し衷心より感謝を申し上げます。

宝達志水町青少年国際交流推進実行委員会委員名簿

(平成18年12月現在)

役 職	氏 名	備 考
顧 問	中 野 茂 一	宝達志水町長
〃	松 田 眞 計	宝達志水町議会議長
参 与	中 江 映	宝達志水町助役
〃	齊 藤 喜久治	宝達志水町収入役
委 員 長	田 畑 武 正	宝達志水町教育委員会教育長
副 委 員 長	山 本 勉	宝達志水町立押水中学校長
委 員	守 田 幸 則	宝達志水町議会教育厚生常任委員長
〃	坂 本 貞 夫	宝達志水町教育委員会委員長
〃	平 野 由 朗	石川県立宝達高等学校長
〃	勝 二 信 隆	宝達志水町立志雄中学校長
〃	前 多 永 憲	宝達志水町社会教育委員議長
〃	上 野 浩 二	宝達志水町PTA連合会副会長

(順 不 同)

事務局

役 職	氏 名	備 考
局 長	源 大 恵	宝達志水町生涯学習課長
次 長	西 山 俊 英	〃 課長補佐
局 員	森 田 泰 昭	〃 国際交流担当

平成18年度宝達志水町青少年国際交流推進事業の経過

日時	事業名	場所	事業内容
3月下旬～ 4月上旬	事業の周知及び参加者 募集要領の配布	町内一円 町内中学校、高校	<ul style="list-style-type: none"> ・広報4月号及び町HPで事業を周知 ・中学校(2)、高校(3)に参加者募集要領を配布
4月10日 ～24日	参加者募集	生涯学習課ほか	<ul style="list-style-type: none"> ・参加申し込み及び受付
4月26日 10:00～	第1回実行委員会	生涯学習センター 「第1会議室」	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会について ・実施要項及び参加者募集要領について ・派遣団員及び引率者の選考について ・事業計画(案)について
5月22日 19:30～	第1回派遣事業説明会	生涯学習センター 「視聴覚室」	<ul style="list-style-type: none"> ・派遣事業について ・今後のスケジュールについて ・旅券申請等について (北國観光(株) 山岸)
6月2日 19:30～	第1回事前研修会	町民センター 「第1研修室」	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介 ・フィンランドについて知る ・前年度派遣団員から学ぶ (南 妙佳、越 まりな)
6月10日 13:00～	第2回事前研修会	国立能登青少年交流 の家「食堂」ほか	<ul style="list-style-type: none"> ・テーブルマナーの基本を学ぶ (森永フードサービス(株) 林) ・お別れパーティで発表する日本文化の内容を 考える
6月26日 19:30～	第3回事前研修会	町民センター 「第1・2研修室」	<ul style="list-style-type: none"> ・ホストファミリーにメールを送る ・フィンランド語を学ぶ ・グループごとに出し物の説明方法などを考える
7月3日 19:30～	第4回事前研修会	生涯学習センター 「第1会議室」	<ul style="list-style-type: none"> ・旅を楽しくする英会話① (ローマン、ディピカ) ・自己紹介、あいさつ、空港での会話
7月10日 19:30～	第5回事前研修会	生涯学習センター 「第1会議室」	<ul style="list-style-type: none"> ・旅を楽しくする英会話② (ローマン、ディピカ) ・ホームステイ中、空港での会話
7月28日 19:30～	第6回事前研修会	町民センター 「第1・2研修室」	<ul style="list-style-type: none"> ・派遣事業の日程について ・グループごとに出し物の発表練習をする
7月31日 13:30～	第7回事前研修会	生涯学習センター 「第1会議室」	<ul style="list-style-type: none"> ・旅を楽しくする英会話③ (ローマン) ・街中、ショッピング、学校での会話 ・グループごとに出し物の発表練習をする
8月4日 19:30～	第8回事前研修会	町民センター 「第1・2研修室」	<ul style="list-style-type: none"> ・発表の予行演習 (中江団長、源生涯学習課長の指導) ・派遣事業報告書の作成について

日 時	事 業 名	場 所	事 業 内 容
8月9日 18:00～	引率者打ち合わせ会	町民センター 「第1・2研修室」	・日程の最終確認について（北國観光(株) 山岸） ・引率者の事務について
8月9日 19:30～	第2回派遣事業説明会	町民センター 「第1・2研修室」	・派遣事業の諸連絡について ・日程の最終確認について（北國観光(株) 山岸） ・海外旅行保険について（ 〃 ）
8月16日 ～26日	派遣事業	フィンランド (タンペレほか)	・インターナショナルスクール・アム校での体験入学 ・ホームステイによる交流 ほか
	16日 9:30～ 結団・出発式	生涯学習センター 「第1会議室」	・町長、教育長あいさつ ・派遣団員紹介、派遣団長あいさつ
	26日 16:25～ 帰着・解団式	志雄庁舎正面玄関前	・教育長あいさつ ・派遣団長帰着報告、派遣団員あいさつ
10月28日	派遣事業報告会	志雄中学校	・派遣団員によるステージ発表
1月	第2回実行委員会	生涯学習センター	・平成18年度事業報告 ほか

ホストマザーの涙

フィンランド派遣団団長

宝達志水町助役 中 江 映

平成18年度宝達志水町青少年国際交流推進事業で、町内の中高生12名による派遣団の団長として、「森と湖の国」フィンランドを訪問しました。

8月16日の出発を前に、ちょうどイギリスでテロ計画が発覚しましたので、私達一行も出入国に際し多少神経過敏になりましたが、実際のところチェックはそれほど厳しくもありませんでした。

18日の午後、タンペレ市に到着した団員達は、早速インターナショナルスクール・アムリ校でホストファミリーとの対面式に臨み、1人ひとり英語で自己紹介をした後、和やかな雰囲気の中それぞれのファミリーに迎えられました。

6泊7日のホームステイ中、ホストファミリーと市内見学やショッピングを楽しんだ団員や、湖畔のコテージでサウナに入ったり、湖で泳いだりした団員もいたようです。

私も週末、あるホストファミリーを訪問する機会がありました。昼食をいただきながらいろいろ話をしていると、ホストマザーが感極まって涙を流す場面がありました。それは「自分の娘がこのように日本の生徒と交流でき、外国の文化に触れることができるとてもうれしい。機会をいただいたアムリ校の先生方に感謝するとともに、人との出会いを大切にしていきたい。」との思いからでした。彼女の涙を見て私は、今回の派遣事業の目的が十分果たせたと実感しました。

24日の夕方には、ホストファミリーとアムリ校の先生方を招待してお別れパーティーを催しました。団員たちは日本の伝統文化である二人羽織や折り紙、コマ回しを披露し、お世話になったホストファミリーと楽しい一時を過ごしました。そしてお別れの時。意外だったのは団員達がほとんど涙も見せず、さわやかな笑顔でのお別れとなったことです。これは考え方によっては、彼らがほとんど抵抗なくそれぞれのホストファミリーに溶け込んで、ごく自然に生活できた結果だと思っています。

わずかな期間であったとはいえ、団員達のタンペレ市での貴重な体験は、何にもまして一生涯の思い出になるとともに、将来の人間形成にも大いに役立つものと期待しています。

今回でフィンランドへの派遣は7回を数えますが、タンペレ市からの来町は1度もありません。しかし、お別れパーティーの席上、今後日本への派遣についてホストファミリーと学校が協議していくという話もあり、近い将来においてそれが実現することを念願するものです。

終わりに、この事業に対しご協力いただいた関係者の皆様方に心からお礼を申し上げますとともに、現地通訳のパーソライネン・ひとみさん、教育委員会の森田主事、同行された北國新聞社佐野記者に何かとお世話になりましたことを感謝します。

フィンランド派遣団の概要

【派遣団員】

学校・学年	性 別		合 計
	男	女	
志雄中学校 2年		6	6
志雄中学校 3年	2	1	3
押水中学校 2年	2		2
宝達高校 2年		1	1
合 計	4	8	12

【引率者】

団長	なかえ 中江	えい 映	宝達志水町助役
随員	もりた 森田	やすあき 泰昭	生涯学習課主事

派遣先の概要

フィンランド・タンペレ市

現在フィンランド第3の都市で、人口は約204,000人。市が建設されたのは1779年で、市の中心に位置する2つの湖、ナシ湖とピュハ湖の高低差を利用した水力発電を生かして、かつてはフィンランド随一の工業都市として栄えました。現在は工場跡地が文化施設やレストランなどに変わり、劇場や音楽などのアート・イベントも豊富に開催される文化都市となっています。また、大小180以上に及ぶ湖を利用したシルバーライン/詩人の道に代表されるクルーズ、トーベ・ヤンソンの代表作ムーミンの資料を展示するムーミン博物館、数々の教会建築、様々なテーマ別博物館など見所は多くあります。



アクセス ✦ ヘルシンキから35分

🚗 ヘルシンキから2時間

🚆 ヘルシンキから2時間30分

時差 7時間(3月から10月までの夏時間採用時は6時間、日本より遅い)

URL <http://www.moimoi finland.com/areas/tampere.php>

インターナショナルスクールオブタンペレ・アムリ校

タンペレの中心部に位置するアムリ校は、1954年設立の市立学校です。1年生から9年生までの小中一貫教育で、現在約50カ国、600人以上の生徒が在籍しています。

URL <http://info1.info.tampere.fi/a/amuri/english/index.html>



日 程

日数	月日	場 所	地方時	交通機関	内 容
①	8/16 (水)	宝達志水町(志雄庁舎) 発 今 浜 I C 白 尾 I C 金 沢 森 本 I C 米 原 J C T 吹 田 J C T 泉 佐 野 I C 関西エアポートワシントンホテル 着	9:30 10:00 12:10 16:00 18:00	貸切バス	結団・出発式 貸切バスにて一路、関西国際空港へ 昼食は南条サービスエリアにて(各自) ホテルへ 夕食はホテルにて 全員(関西エアポートワシントンホテル 泊)
②	8/17 (木)	ホ テ ル 発 関 西 国 際 空 港 発 ヴ ァ ン タ ー 国 際 空 港 着 ヘルシンキ 滞在	8:40 9:00 11:00 14:40 17:40 19:00	シャトルバス AY078 専用車	ホテルにて朝食後、関西国際空港へ チェックイン手続き後、通関・出国 フィンランド航空78便にて空路ヘルシンキへ(機内食2回) 到着後、通関・入国。専用車にてヘルシンキ市内観光へ (シペリウス公園・テンペリアウキオ教会・ヘルシンキ大聖堂) ホテルへ 夕食はホテルにて 全員(ヘルシンキ ソコスホテル ヴァークナ 泊)
③	8/18 (金)	ヘルシンキ 発 イ イ タ ラ 着 タ ン ペ レ 発 タ ン ペ レ 着 タ ン ペ レ 滞在	8:30 10:10 11:00 11:50 13:30 14:30 15:30	専用車	ホテルにて朝食後、専用車にてタンペレへ 途中、イイタラでショッピング 昼食は市内レストランにて インターナショナルスクール・アムリ校に到着 ホストファミリーと対面式。その後、各家庭へ 教育委員会を表敬訪問(引率者) 生徒(ホームステイ) 引率者(タンペレ クムルス・ハメーンピスト 泊)
④	8/19 (土)	タ ン ペ レ 滞在	終日		終日ホストファミリーと行動 生徒(ホームステイ) 引率者(タンペレ クムルス・ハメーンピスト 泊)
⑤	8/20 (日)	タ ン ペ レ 滞在	終日		終日ホストファミリーと行動 生徒(ホームステイ) 引率者(タンペレ クムルス・ハメーンピスト 泊)
⑥	8/21 (月)	タ ン ペ レ 滞在	終日		終日インターナショナルスクール・アムリ校に体験入学 生徒(ホームステイ) 引率者(タンペレ クムルス・ハメーンピスト 泊)
⑦	8/22 (火)	タ ン ペ レ 滞在	終日 10:00		終日インターナショナルスクール・アムリ校に体験入学 サンテン・オイを表敬訪問(引率者) 生徒(ホームステイ) 引率者(タンペレ クムルス・ハメーンピスト 泊)
⑧	8/23 (水)	タ ン ペ レ 発 ル オ ベ シ 着 タ ン ペ レ 発 タ ン ペ レ 着 タ ン ペ レ 滞在	8:40 9:00 10:10 14:45 16:40 17:00	専用車	インターナショナルスクール・アムリ校に集合 専用車にてルオベシへ ファームステイ、昼食 途中、ピスパラの丘公園を散策 アムリ校に到着後、各ホームステイ先へ 生徒(ホームステイ) 引率者(タンペレ クムルス・ハメーンピスト 泊)
⑨	8/24 (木)	タ ン ペ レ 滞在	終日 18:10 21:20		終日インターナショナルスクール・アムリ校に体験入学 お別れパーティー(レストラン アストール) ホストファミリーと別れ、ホテルへ 全員(タンペレ クムルス・ハメーンピスト 泊)
⑩	8/25 (金)	タ ン ペ レ 発 ヘルシンキ 着 ヴ ァ ン タ ー 国 際 空 港 発 ヴ ァ ン タ ー 国 際 空 港 着	8:35 10:45 14:10 14:40 17:50	専用車 専用車 AY077	ホテルにて朝食後、専用車にてヘルシンキへ ヘルシンキ大聖堂を起点にフリータイム(昼食は各自) (マーケット広場、ストックマンデパートほか) 専用車にてヴァンター国際空港へ 到着後、通関・出国 フィンランド航空77便にて空路、関西国際空港へ(機内食2回) (機内 泊)
⑪	8/26 (土)	関 西 国 際 空 港 着 泉 佐 野 I C 発 吹 田 J C T 米 原 J C T 金 沢 森 本 I C 白 尾 I C 今 浜 I C 宝達志水町(志雄庁舎) 着	9:05 10:05 11:30 16:20	貸切バス	到着後、通関・入国 貸切バスにて一路、宝達志水町へ 昼食は草津パーキングエリアにて(各自) 到着後、帰着・解団式

行 動 日 誌

報告：森田 泰昭

1日目 8月16日(水) 晴れ(大阪)

- 9：30 結団・出発式
中野町長、田畑教育長より激励を受けた後、団員一人ひとりが抱負を述べ、中江団長が挨拶する。
- 10：00 貸切バスにて志雄庁舎を出発
関係者や家族に見送られ、庁舎前を出発。団員らはこの日を待ち望んでいたようで、車内はととてもにぎやかな様子。
- 11：20 尼御前SAでトイレ休憩
- 12：10 南条SAで各自昼食
お盆のUターンでSAは混雑。
- 14：20 草津PAでトイレ休憩
道中2人の団員が乗り物酔いになり、薬を渡す。団員らは少し疲れた様子。
- 16：00 関西エアポートワシントンホテル到着
チェックイン。フロントで量りを借りる。
一部団員のスーツケースが20kgを超えたので、他の団員へ荷物を振り分けるよう指示。各自部屋に入り、夕食まで自由行動。
- 18：00 ホテルレストランにて夕食
バイキング。機内へ持ち込む手荷物について指示。団員らは食事もそこそこに部屋へ。



2日目 8月17日(木) 晴れ(大阪・ヘルシンキ)

- 7：00 ホテル朝食会場へ
バイキング。団員の1人が落とし物をしたので、関係者に確認するも不明。さらにホストファミリーへのお土産も自宅に忘れたようなので、空港で購入するよう指示。
- 8：15 ロビーに集合
再度スーツケースの重量を確認。機内持ち込み荷物についても確認。
- 8：40 シャトルバスにて関西空港へ
車内にもスーツケースを詰め込んでようやくホテルを出発。
- 9：00 関西空港着
- 9：20 Cカウンターにてチェックイン
超過荷物は問題なし。機内持ち込み荷物を問い合わせるが、厳しいのはアメリカやイギリス行きの便だけで特に問題ないよう。
- 9：30 団員のほとんどが両替所へ

- 10:10 保安（手荷物）検査場へ
機内持ち込み荷物には気をもまされるが、結果的にはペットボトルも持ち込めるほどで特に問題なし。ただ昨年続きうっかり薬箱を持ち込んでしまい、はさみを没収される(>_<)。
- 10:20 出国審査場通過
- 10:35 あわただしく搭乗口へ
- 11:00 予定通り離陸
フィンランド航空78便にて空路ヘルシンキへ。9時間40分のフライト予定。
- 12:30 1回目の機内食
団員らは勉強したり音楽や映画を楽しんだり、睡眠をとったりと思いつきに過ごす。
- 18:00 フィンランドの現地時間に時計を合わせる
(12:00) 今日は時差の関係で30時間。長い1日になりそう。
- 12:30 2回目の機内食
ロシアを越えて間もなく、眼下にフィンランドの森と湖が見え始め、団員らも興奮している様子。
- 14:40 ヴァンター空港に無事着陸
- 15:10 入国審査終了
パスポート審査では流れのよい列に付いたところ、係員からの質問も全くなく、頭に入れておいた英会話も肩すかしに終わる。中江団長だけ真面目な(?)係員にきっちり質問される。
- 15:20 スーツケースを受け取る
団員の1人のスーツケースベルトが紛失したので、関係者へ確認。
- 15:35 ロビーでガイドの上原さんに合流
- 15:45 専用バスにてヘルシンキへ
道中上原さんのガイドに耳を傾ける。
- 16:10 シベリウス公園へ
ステンレスパイプのモニュメントを背景に記念撮影。
- 16:40 テンペリアウキオ教会へ
岩盤など自然を利用したフィンランドの現代建築に感銘を受ける。
- 17:05 ヘルシンキ大聖堂へ
青い空に白い大聖堂が映えてとても美しい。



- 17:40 ソコスホテル ヴァークナに到着
チェックインを済ませ、ガイドの上原さんと別れる。
各自部屋に入り夕食まで自由行動。
- 18:00 ひとみさんと合流し、ロビーにて打ち合わせ
- 19:00 ホテルレストランにて夕食
団員らは今日4回目の食事と長旅の疲れもあって口
数が少ない。サーモンのグリルなど味わう。
- 20:30 夕食を終え、部屋に戻る
団員の様子を確認するため部屋を回る。団員の1人が頭痛を訴えたの
で薬を渡す。また、ある団員は閑空のホテルに忘れ物をしたので、ホ
テルに確認する。



3日目 8月18日(金) 曇りのち晴れ 一時雨(タンペレ)

- 7:00 ホテル朝食会場へ
バイキング。団員らは時差ボケもなく元気な様子。頭痛を訴えていた
団員も回復した様子。
- 8:00 ロビーに集合
団員のほとんどがヘルシンキ中央駅のFOREXで両替を済ませる。
- 8:30 専用バスにてタンペレへ
ヘルシンキ市内を抜け、フリーウェイを走る。車窓には森と湖、牧場
など素朴な風景が広がる。道中ひとみさんの説明で日程を確認。
- 10:10 イイタラ着
団員らはガラス工房の様子をのぞいたり、
ガラス製品のお店でショッピングを楽しむ。
- 11:00 タンペレに向け出発
- 11:50 市内レストランで昼食
ビーフステーキに舌鼓を打つ(^o^).
- 13:00 アムリ校に向け出発
途中引率の荷物を預けるためホテルに立ち寄るが、強い雨の中荷物の
移動に一苦労。
- 13:30 アムリ校に到着



スタッフルームに案内され、シニッカ先生
やトゥーラ先生、カイサ校長と対面。用意
したメッセージやお土産を手渡す。お茶や
お菓子をいただきながら団員らは緊張し
た面持ちでホストファミリーを待つ。しば
らくしてホストファミリーが現れると、団
員らは自分のホストファミリーがどれか
気になる様子。

- 14:30 ホストファミリーが集合し、対面式
中江団長の挨拶の後、シニッカ先生が歓迎の挨拶。団員らが順に自己紹介し、それぞれホストファミリーの元へ向かうと、ホストファミリーも笑顔で迎えてくれる。ホストファミリーが急きょ変更になったり、週末を他のホストファミリーと過ごすことになったりした団員らもホストファミリーと和んだ様子でホッとする。ホストファミリーにお土産とお別れパーティの招待状を手渡し、ひとみさんを通じてホームステイ中の日程を確認する。そして土日にそれぞれ1件のホームステイ先への訪問を約束する。
- 15:20 対面式が終了
団員らはそれぞれのホストファミリーと家路へ。
- 15:30 引率はタクシーで教育委員会庁舎へ
ベリーマッティ・カネルバ教育推進担当長を表敬。町長のメッセージとお土産を手渡し、ひとみさんの通訳で日本とフィンランドの教育について話し合う。
- 17:00 タクシーでクムルス・ハメーンピストへ

4日目 8月19日(土) 曇りのち晴れ(タンペレ)

団員らは終日ホストファミリーと過ごす。

- 10:00 引率は市内散策(ムーミン博物館、屋内マーケットホール、フィンレイソン工場跡地、タンペレ大聖堂)
- 11:45 団員の1人からひとみさんへ電話
ホストファミリーとムーミン博物館へ行くとのこと。
- 16:30 徒歩で団員のホームステイ先へ
- 17:00 団員の1人と再会



元気で落ち着いている様子。家の中を案内され、その立派な造りに驚く(すごい)。子ども部屋ではホストファミリーの子どもたちと団員がお土産の紙風船やけん玉、だるま落としを楽しむ。その後公園に移動し、夕暮れまでサッカーをして遊ぶ。団員が帰るのを待つ間、ホストファミリーと宝達志水町や日本のことについて話し合う。

- 20:00 団員と別れる
ホームステイ先のディナーはなんと名物のザリガニ料理。日本では経験できない味を堪能した様子。

5日目 8月20日(日) 晴れ(タンペレ)

団員らは終日ホストファミリーと過ごす。
引率は午前中フリー

- 11:20 団員の1人からひとみさんへ電話
サルカンニエミやサッカーの試合に行きたい旨ホストファミリーに伝えてほしいとのこと。結果はどうあれ、そのように意思表示することは良い。
- 11:30 タクシーで団員のホームステイ先へ
- 11:55 団員の1人と再会



自然豊かな景色を眺めながら、ベランダでホストファミリーや団員と会話を楽しむ。昨日他の団員といっしょにサルカンニエミで遊んだことを笑顔で語ってくれ、その元気な姿を見てホッとする。その後皆で食卓を囲み、手作りのトナカイ料理をいただく（意外とくせがなくおいしい(^o^)) ホストマザーは娘

が日本の子どもたちと交流できるこの機会をととても喜んでいて、その話を聞いてこの交流事業を今後も継続していきたいと強く感じる。火曜の夕方、ホストスチューデントが在籍する市民オーケストラの練習会場で会う約束をする。

- 15:00 団員と別れる
- 18:00 サッカー観戦のため、徒歩でタンペレスタジアムへ

偶然ホストスチューデントと観戦に来ていた2人の団員と出会う。バックスタンドで地元タンペレユナイテッドを応援するも2-3で惜敗。



6日目 8月21日(月) 曇りのち晴れ 一時雨(タンペレ)

団員らは終日アムリ校に体験入学。

- 11:00 徒歩でアムリ校へ
校庭で3人の団員が笑顔で声を掛けてくる。そのまま3人が在籍する6年生のフィンランド語の授業を見学に行く。しばらくしてランチルームの方に行くと、他の団員もそれぞれのホストスチューデントとランチを食べに来る。野菜嫌いなのに頑張って野菜を食べる団員やおかわりする団員もいて、とにかく全員の元気な様子を確認しホッとする。



- 12:20 アムリ校を離れる
その後、引率は市内散策（サルカンニエミのナシンネウラ展望台ほか）
市内の景色を眺めながらテラスでランチ。



7日目 8月22日（火） 曇り（タンペレ）

団員らは終日アムリ校に体験入学。

- 9:45 タクシーでサンテン・オイへ
10:00 ユッシ・ヴァンティネン 開発マネージャーを表敬。会議室で会社の概要を説明してもらったり、工場内を案内してもらう。
12:15 食堂でランチをごちそうになる
13:00 ユッシさんと別れる
18:30 徒歩で市民オーケストラの練習会場へ
団員やホストマザーたちと再会。団員はアムリ校での他の団員の様子を元気に話してくれる。市民オーケストラは125年の歴史があり、ホストスチューデントを含め、10代から80代までの約40人が在籍。迫力ある演奏にしばらく耳を傾ける（♪）。
19:40 練習会場を離れ、団員たちと別れる
19:55 団員の1人からひとみさんへ電話
両替や買い物のことを気にしていたので、後日ヘルシンキで予定していることを伝える。



8日目 8月23日（水） 晴れ（タンペレ）

- 8:40 徒歩でアムリ校へ



団員らが既に校庭に集合。ホームステイの様子や、ホストファミリーとサマーコテージやサルカンニエミへ行ったことを笑顔で話してくれる。今日は1日ファームステイで皆いっしょに過ごせるためか団員らはとてもワクワクしている様子。

- 9:00 専用バスにてルオベシへ
バスの車内にもぎやかで会話が弾む。
10:10 ファームステイ先到着
農場主ミッコ・リンデルさんの歓迎を受ける。団員らは農場内を案内され、お手をするヤギや、ウサギ、猫とたわむれる。



その後、3人1組で馬車に乗せてもらう。中には油断して馬車から落ちてしまう団員も。そして、途中森の中でラズベリーを摘みながら、近くの湖畔まで散歩する。



12:00 ミッコさん宅でランチ
ミッコさんのアコーディオン演奏をBGMに、奥さん手作りの野菜炒めやグラタンを味わう。朝絞ったばかりのミルクは最高(^o^)

13:00 近くの森を散策
途中放牧された牛にエサをあげたり、湖畔で遊んだりする。その後、景色のよい小高い丘で摘みたてのラズベリーをのせたパイとお茶をごちそうになる。団員らはおいしいパイと澄んだ空気、そして森と湖の美しい眺めを堪能。

14:45 ミッコさん家族と別れ、専用バスにてタンペレへ

15:00 途中民芸品店に立ち寄る

16:40 ピスパラの丘公園へ
美しい湖を背景に記念撮影。

17:00 アムリ校に到着
団員らは迎えに来ていたホストファミリーとそれぞれ家路につく。



9日目 8月24日(木) 晴れ(タンペレ)

団員らは終日アムリ校に体験入学。

10:15 ひとみさんと引率1名でアムリ校へ
ランチルーム前に全団員のスーツケースを確認。運搬用のバスを待っていると、6年生のクラスに在籍する3人の団員に出会う。

11:10 バスに荷物を積み、ホテルへ
団員らのチェックインまで荷物を預かってもらう。

12:20 アムリ校でトゥーラ先生と待ち合わせ

12:30 トゥーラ先生と近くのカフェでランチ
アムリ校についていろいろと話を聞く。

13:30 トゥーラ先生と別れ、アムリ労働者住宅博物館を見学

14:00 博物館前で先に授業を終えた9人の団員と合流
引率1人を残し、先にホテルへ移動。

14:40 アムリ校で他の3人の団員と合流

15:15 ホテルに到着



- 16:30 徒歩でお別れパーティー会場へ
 16:50 レストラン「アストール」に到着
 ホストファミリーを待つ間グループごとにリハーサルし、発表に備える。皆少し緊張した様子。
 18:10 お別れパーティー



皆列になってホストファミリーを握手で迎える。到着したホストファミリーから順に団員と席に着く。中江団長とひとみさんが各ホストファミリーの元をお礼に回る。間もなく所狭しと並んだテーブルが団員とホストファミリー、そしてアムリ校の先生方と引率を合わせた約50名で埋め尽くされる。団長の乾杯でパーティー開始。ディナーも一段落したところで、グループごとに発表。最

初は二人羽織。団員らのこっけいな様子に会場から大きな笑いが。ホストスチューデントも日本の文化を体験し、会場を盛り上げる。続いて、折り紙で飛行機と鶴を折る。会場のホストファミリーも興味を示しているようで、真剣な表情で団員らの説明に耳を傾ける。そしてコマ回しを披露。掌でコマを回す大技を予定通り(?)1回で成功させ、会場から大きな拍手を受ける。その後はホストスチューデントも積極的にコマ回しに挑戦するなど、異文化交流も好評のうちに終わる。最後にトゥーラ先生が「今回日本の生徒を受け入れてくれたホストファミリーの協力体制を誇りに思う。今後もこの交流が続くことを願っている。」と挨拶。ほとんどの団員が涙を見せることもなくホストファミリーを見送り、パーティーも無事終了する。



- 21:20 会場を離れ、ホテルに到着
 団員に電話で連絡事項を伝える。
 21:40 男子団員とホテルのサウナへ
 フィンランドの熱いサウナを堪能。
 25:00 団員の1人から電話
 誰かがノックして部屋を開けようとしたらしく、しばらく様子を見るよう指示。



10日目 8月25日(金) 晴れ(ヘルシンキ)

- 7:05 ホテル朝食会場へ
バイキング。全団員とも食欲旺盛。
- 8:30 ロビーに集合
チェックアウト。一部団員が部屋で有料放送(映画)を視聴したため、12ユーロも支払うことに。全員のパスポートを確認し、機内持ち込み荷物とするよう指示。
- 8:35 専用バスにてヘルシンキへ
- 10:45 ヘルシンキ大聖堂へ
最寄りのFOREXで両替をする。
- 11:20 マーケット広場で自由行動
団員らは待ちに待ったショッピングとあって、たくさんの露店が立ち並んだ広場を興味深く見て回る。
- 12:00 ストックマンデパートへ
大聖堂を集合場所にして、フリータイムとする。団員らはデパート内やエスプラナディ通りで各自ショッピングやランチ。
- 14:00 ヘルシンキ大聖堂へ
全団員が時間どおりに集合(えらい)。お土産を手に皆ショッピングを楽しんだ様子。残ったユーロ硬貨でアイスクリームを買う団員も。
- 14:10 専用バスにて空港へ
- 14:40 ヴァンター空港に到着
チェックインカウンターで全員のスーツケースを預ける。
- 15:10 ひとみさんと別れる
団員らがそれぞれひとみさんにお礼の言葉を述べる(本当にお世話になりました)。
- 15:20 手荷物検査終了
- 15:30 パスポート審査も無事に通過
しばらく自由行動。免税店でフィンランド最後のショッピング。ユーロを使い切ろうと、皆必死。
- 16:50 搭乗手続き開始
- 17:50 フィンランド航空77便にて空路関西空港へ
予定より35分遅れての離陸。9時間25分のフライト予定。かけがえのない日々を過ごしたフィンランドを離れたくないと思う団員や、早く日本の家族に会いたいと思う団員など、その思いも様々。機内は皆元気な様子でリラックスモード。



11日目 8月26日(土) 晴れ(大阪)

- 18:25 離陸後間もなく機内食

- 18:30 日本の現地時間に時計を合わせる
 (24:30) 食事後、ほとんどの団員が睡眠。
 7:40 2回目の機内食
 9:05 無事関西空港到着
 9:20 入国審査
 9:30 税関検査場を無事通過
 9:40 1階出口でバス会社と合流
 携帯電話を返却。一部の団員が外貨の両替を行う。
 10:05 貸切バスにて宝達志水町へ
 フィンランドの過ごしやすい気候から一転、日本の暑さを痛感(^_^;)。
 11:30 草津PAで各自昼食
 団員らは久しぶりの日本食を堪能。
 13:10 神田PAでトイレ休憩
 13:55 南条SAでトイレ休憩
 到着が予定より1時間早くなりそうなので、団員から各家庭に連絡させる。志雄
 庁舎宿直室及び生涯学習課関係者にもその旨連絡する。
 15:15 徳光PAでトイレ休憩
 16:20 志雄庁舎に到着
 教育長、源課長、西山補佐、家族らの出
 迎えを受ける。
 16:25 帰着・解団式
 団長をはじめ、団員らが感想を述べる。
 16:40 解散
 団員らは家族と家路へ。お疲れ様でした。



カメラレポート

～派遣事業説明会・事前研修会・派遣事業報告会～



真剣な表情の団員と保護者
(第2回派遣事業説明会)



前年度派遣団員の話に耳を傾ける
(第1回事前研修会)



テーブルマナーの基本を学ぶ
(第2回事前研修会)



「Hello. How are you? ...」
英会話に挑戦！(第4回事前研修会)



英語を使っでの発表練習
(第7回事前研修会)



貴重な体験を報告
(志中祭での派遣事業報告会)

～ホームステイ～



ディナーを前に家族で団らん

～ファームステイ～



青く澄んだ湖を背に記念撮影

～体験入学～



セーラー服を着た生徒



校庭で野生のリスを発見

～お別れパーティー～



団長による乾杯「Kippis!」



アムリ校の先生方から
プレゼントのサプライズ！

～現地視察（タンペレ市）～

☆☆☆ フィンランドの生活・文化を肌で感じる ☆☆☆



多くの市民でにぎわう屋内マーケットホール



サルカニエミ・ツーリスト・センター
年間 100 万人が訪れるアムusement
パークで、ナシネウラ展望台(168m)
からの眺めは絶景



メインストリートに掲げられた横断幕
地元でもアイスホッケーの人気は絶大



フィンランドといえば“サウナ”
集合住宅の地下に設置された
電気サウナ



テラスで夏の太陽の恵みを楽しむ人々



夜のタンペレ劇場
20時を過ぎてもまだ明るい

☆☆☆ フィンランドの食生活 ☆☆☆



一般的な朝食。パンの種類は豊富



よく食べられるサーモンとじゃがいも



トナカイ肉の煮込み



ヘラジカ、トナカイ、猪豚のステーキ



フィンランド航空の機内食

あ と が き

平成18年度宝達志水町青少年国際交流推進事業で実施されたフィンランドへの派遣事業も無事終了することができました。

今回応募の動機こそ異なりますが、フィンランドという未知の国、そして全く面識のない家族のもとでのホームステイを決断した12名の生徒たち。まずもって、そのチャレンジ精神と行動力に対し、心から拍手を送りたいと思います。生徒たちは、日本と異なるフィンランドの生活や文化を若い感性でとらえ、たくさんのことを学ぶことができたと思います。そして何より、1人で7日間ホームステイできたことが大きな自信となって、一回りも二回りも成長することができたと思います。保護者を対象としたアンケートでも、派遣事業前と比べて「自信を持った」とか「しっかりしてきた」など、生徒に成長の跡が見られたという意見があり、この派遣事業に参加した生徒たちは得るものが大きかったと感じています。

一方で、その生徒たちを温かく迎え、家族同様に接していただいたホストファミリーの皆さんには本当に頭が下がる思いです。「北欧は遠い」というイメージを持たれている方も多いかもしれませんが、実はフィンランドは日本から一番近いヨーロッパの国です。生徒たちもこの派遣事業を通して、フィンランドをより身近に感ずることができたのではないのでしょうか。このかけがえのない交流を無駄にすることのないよう、生徒たちが今後もお世話になったホストファミリーと実のある交流を続けてくれることを心から期待しています。

終わりにこの紙面をお借りし、今回の青少年国際交流推進事業にご支援とご協力をいただきました青少年国際交流推進実行委員会の委員各位をはじめ、フィンランド派遣団の団長を務められた中江助役、同行取材された北國新聞社の佐野記者、現地で大変お世話になりましたパーソライネン・ひとみさん、すべての関係各位に深く感謝を申し上げます。

平成18年度宝達志水町青少年国際交流推進事業報告書

発行 平成18年12月
宝達志水町青少年国際交流推進実行委員会

編集 宝達志水町青少年国際交流推進実行委員会事務局
〒929-1392 石川県羽咋郡宝達志水町小川ハ 250 番地
宝達志水町生涯学習課
TEL 0767-28-5518 FAX 0767-28-5541
E-mail: life-study@town.hodatsushimizu.lg.jp
